

募集

～教育の質的転換を目指すICT利用～

平成30年度 ICT利用による教育改善研究発表会 開催要項

この発表会は、全国の国公私立大学・短期大学教職員を対象に、教育改善のためのICT利用によるFD（ファカルティ・ディベロップメント）活動の振興普及を促進・奨励し、その成果の公表を通じて大学教育の質的向上をはかることを目的として、平成5年より実施しています。最も優れた発表に対しては文部科学大臣賞を、またこれに次いで優れた発表に対しては協会賞を授与し、その教育業績を顕彰します。

大学・短期大学では、アクティブ・ラーニングによる教育方法の改善、学修成果の測定と可視化など、個々の教員はもとより組織としてのFDへの取り組みが課題となっています。

この発表会は、今後の教育活動に示唆を与えるものですので、大学教職員の皆様におかれましては発表会の重要性をお考えいただき、ぜひご参加ください。

日 時：平成30年8月9日（木）10：00～16：50

場 所：東京理科大学 森戸記念館 地図 http://www.tus.ac.jp/info/access/gmap/kag_gmap.html

会場の詳細は、当日の会場案内板や掲示にてご確認下さい。

東京都新宿区神楽坂 4-2-2

JR「飯田橋」西口／東京メトロ「飯田橋」B3 出口下車 徒歩 6 分、都営大江戸線「牛込神楽坂」A3 出口下車 徒歩 3 分

主 催：公益社団法人 私立大学情報教育協会

後 援：文部科学省(予定)

【本発表会のねらい】

教員個人や大学・学部等組織レベルでの ICT を利用した教育改善の取り組みと効果を公表することで、アクティブ・ラーニングによる教育方法の改善、学修成果の測定と可視化など、教育の質的転換に向けた課題の解決策を示唆することを目指しております。

参加対象 国公私立大学・短期大学の教職員、賛助会員

参加費 加盟大学・短期大学、賛助会員： 8,500 円（税込）

非加盟大学・短期大学： 17,000 円（税込）

*発表者の参加費は不要です。発表要項をご覧ください。

<http://www.juce.jp/LINK/houhou/18houhou/18happyyouyoukou.pdf>

*当協会加盟校は右サイトで確認ください。

<http://www.juce.jp/LINK/kaiin/univ2.htm>

加盟校の参加者には、当日の発表スライド（許可が得られたもの）を後日閲覧できるようにします。

申込方法 Web からの申込み

下記 Web の「参加申込み」ボタンを押し、画面表示に従って入力、送信下さい。

<http://www.juce.jp/LINK/houhou/18houhou/>

FAX での申込み

別紙の申込用紙に記入の上、送付下さい。 **FAX: 03-3261-5473**

※申込内容で当協会が取得する個人情報は、下記の目的により利用します。

「大学名、氏名、所属（学部、部署）」は、当日配布する資料（冊子）に参加者名簿として掲載します。「電子メールアドレス」は、今後の事業案内の連絡先情報として利用します。

申込締切 8 月 4 日（土）

参加費振込 できるだけ8月6日（月）までにお振込み下さい。

一括申込みの場合：振込依頼人名には、大学名の他にキャンパス名または部署名を入れて下さい。

個人申込みの場合：参加費の振り込み依頼人名には、大学名と氏名の両方を必ず入れて下さい。

振込先 シジョウキョウ りそな銀行市ヶ谷支店 普通預金 0054409 名義人 私情協

〒102-0073 千代田区九段北 4-1-14 九段北 TL ビル 4 F TEL:03-3261-2798

*振込手数料は申込者各自で負担願います。

*8月4日（土）までのキャンセルは、参加費から振込手数料を差し引いた金額を返金します。それ以降のキャンセルは、資料代（送料含む）、振込手数料を請求させていただきます、後日資料を郵送いたします。予めご了承下さい。

送付・問い合わせ先 公益社団法人 私立大学情報教育協会 事務局 E-mail: info@juce.jp（問い合わせ用）

〒102-0073 千代田区九段北 4-1-14 九段北 TL ビル 4F TEL : 03-3261-2798 / FAX : 03-3261-5473

平成30年度ICT利用による教育改善研究発表会発表一覧(47件)

- *発表は3会場に分かれて行います。
 *各会場は当日の案内表示にて確認ください。
 *研究発表者名は発表代表者を掲載しています。
 *研究発表者のやむを得ない事由により発表中止となる場合があります。

(敬称略)

時間	発表番号	発表題目	研究発表者	大学名	
A 人文科学・社会科学・キャリア教育・その他	10:00	A-1 事業者との連携による体験型授業におけるSNS活用の試み	山岡 義卓	神奈川大学	
	10:20	A-2 ICTを用いた授業関連雑話の許容タイミング可視化が講義の双方向化に及ぼす効果	木村 敦	日本大学	
	10:40	A-3 相互評価支援システムによるプレゼンテーション技術向上のための教育実践	豊島 純子	法政大学	
	11:00	休憩			
	11:10	A-4 PBLにおける学生の相互評価によるルーブリック活用とその教育効果	青木 茂樹	駒澤大学	
	11:30	A-5 Skype会議を通じた共同新製品開発	佐藤 正弘	拓殖大学	
	11:50	A-6 4キャンパス同期型の遠隔授業における対話の試み	白岩 英樹	国際医療福祉大学	
	12:10	休憩			
	13:10	A-7 LMSを活用したグローバルな視野育成のための授業改善への取り組み	笠井 正隆	関西外国語大学	
	13:30	A-8 ICTを活用したアクティブ・ラーニングにおける音読の効果	柳 元和	帝塚山大学	
	13:50	A-9 経営者インタビュービデオを使った傾聴力と発言力を高めるトレーニング・プログラム	開間 理	九州産業大学	
	14:10	休憩			
	14:20	A-10 検索連動型広告を使ったインターネットマーケティングによる教育改善	上田 敏樹	大谷大学	
	14:40	A-11 大学と企業との連携による実践型教育の検証と成果	西崎 雅仁	大同大学	
	15:00	A-12 eポートフォリオを活用したレポート作成能力向上の試み	貝増 匡俊	神戸女子大学	
	15:20	休憩			
15:30	A-13 ICTを活用した世代間交流による協働学習～表現教育とキャリア教育の接点での試み～	杉原 麻美	淑徳大学		
15:50	A-14 グローバル人材育成科目開発・アクティブラーニング型授業としての反転授業の実施	関口 幸代	明治学院大学		
16:10	A-15 地域伝統産品のブランド価値向上を図るICTを活用したPBL活動	奥村 実樹	金沢星稜大学		
16:30	A-16 グローバルマインドを培う海外大学との連携授業のプログラム	山本 英一	関西大学		
B 理学・工学・農学・生活家政・医療	10:00	発表中止			
	10:20	B-2 ICTを活用した反転授業導入による成績評価および学習意欲の定量的変化	鈴木 克彦	東京理科大学	
	10:40	B-3 実践的ものづくり・メカトロ創造教育におけるPBLの取り組み	西田 麻美	関東学院大学	
	11:00	休憩			
	11:10	B-4 YouTubeをプラットフォームとしたカスタムメイド動画による事後学修	中釜 達朗	日本大学	
	11:30	B-5 実験科目を核とした総合的な教育システムの構築の試み	根本 洋明	日本大学	
	11:50	B-6 Team-based learning(チーム基盤型学習)の学習効果の評価	五十嵐 ゆかり	聖路加国際大学	
	12:10	休憩			
	13:10	B-7 聴覚障がい対応をクラスの全学生の主体的学修支援へと発展させるICT活用の実践	西牧 可織	北海道医療大学	
	13:30	B-8 LMSを活用した新たな読書法と質問づくりの実践	大塚 正人	摂南大学	
	13:50	B-9 反転授業を利用した事前学習および小テスト繰り返し受験の教育効果	柳沢 学	摂南大学	
	14:10	休憩			
	14:20	B-10 ICTを用いたTBL授業の導入	池藤 仁美	関西医療大学	
	14:40	B-11 理系文章作成能力の向上を目的としたピアフィードバックの多様化と効率化	金山 知俊	南山大学	
	15:00	B-12 住居・インテリア学科の学生のための「情報処理入門」教材コンテンツの開発	香川 治美	九州産業大学	
	15:20	休憩			
15:30	B-13 ICTを活用した遺伝子組換え技術の体系的習得	佐野 元昭	金沢工業大学		
15:50	B-14 栄養士養成課程におけるICT活用とオンデマンド動画配信による事後学修支援	治京 玉記	大阪夕陽丘学園短期大学		
16:10	B-15 電子ジャーナルシステムの導入による、研究会履修者の学修動機増進の試み	内藤 泰宏	慶應義塾大学		
16:30	B-16 実験力向上を目的とした応用化学実習の企画と Oh-o! Meiji の活用	小川 熟人	明治大学		
C 初年次教育・情報基礎・情報専門・語学・環境	10:00	C-1 LMSの活用による初年次コンピュータ・情報リテラシー教育の改善	毒島 雄二	日本大学	
	10:20	C-2 Web3D技術を活用した大学の大規模授業における協働学修	中村 太戯留	東京工科大学	
	10:40	C-3 医療通訳ブレンド学習プログラムの開発と活用	大野 直子	順天堂大学	
	11:00	休憩			
	11:10	C-4 留学生と日本語系教師希望学生の双方で作成する日本語教育教材開発の取り組みについて	市原 乃奈	静岡英和学院大学	
	11:30	C-5 ICT活用と情報リテラシー教育再構築	小椋 理子	湘北短期大学	
	11:50	C-6 反転授業の改善と学生の自己調整力向上を目指したICT活用の取組	松田 岳士	首都大学東京	
	12:10	休憩			
	13:10	C-7 対面授業からICT活用授業への移行の実践～コンピュータ系授業～	亀田 真澄	山陽小野田市立山口東京理科大学	
	13:30	C-8 スマートフォンを駆使した学生の自己表現映像技術の習得	牟田口 章人	帝塚山大学	
	13:50	C-9 CBTを活用した学科必修の情報スキル系教育での反転学習の実践	小松川 浩	千歳科学技術大学	
	14:10	休憩			
	14:20	C-10 理論とエビデンスに基づいた科学的に効果のある診断的リスニング指導法	上田 眞理砂	立命館大学	
	14:40	C-11 講義ノートの取り方を修得するためのICTを活用した演習	森 淳秀	大阪歯科大学	
	15:00	C-12 スマートフォンアプリ及びLMS等の活用による教育改善とその効果検証について	橋爪 孝夫	山形大学	
	15:20	休憩			
15:30	C-13 フィリピン学生とのスカイプ交流を舞台としたカタカナ英語発音脱却への取り組み	阿佐美 敦子	実践女子大学		
15:50	C-14 承認欲求をモチベーションとするプロジェクト授業の活性化に関する質的考察	綿貫 理明	専修大学		
16:10	C-15 e-learningホルダーを利用した初歩的ICT利用の横断的研究	津島 光	近畿大学		
16:30	C-16 オンライン英会話を導入したアクティブラーニングの英語コミュニケーション授業	瀧野 みゆき	立教女学院短期大学		